



むらさき会だより

No.5

平成13年9月1日

山村学園むらさき会

校歌

一、富士の高嶺の白妙を
雲のあなたに仰ぎつ、
学びの道を踏みわけて
やがて極めんいただきを
名は山村よ我等の学舎

二、清き流れの大利根や
行く手は遠く広くとも
教えの海に漕ぎ出でて
底の真珠を探りなん
名は山村よ我等の学舎

三、初雁おとのお武蔵野に
紫におう藤の花
理想を高くかざしつ、
いざや進まん諸共に
名は山村よ我等の学舎

校歌と学園賛歌を歌い続け
て八十年、五十年の母校が更
に躍進の由、私共むらさき会
員は懐旧の情一入でございま
す。第五号発刊に当り冒頭に
校歌を掲げさせて頂きました。

むらさき会

会長 田中 久子



山村学園理事長

山村 寛先生



〈短大が大きく変わります〉

山村女子短期大学

学長 山村 健先生



学園をご卒業なさいました
同窓会むらさき会の皆さん。
大正十一年、川越市小仙波の
地に誕生した学園は卒業生を
送り続けること実に八十年。
昭和二十六年に坂戸市に高等
学校を開校、昭和三十四年に
は川越市にも高等学校を開校
し、地域社会の要望にかなう
女子教育を推進して参りました。
更に平成元年には鳩山町
の丘陵に山村女子短期大学を
開学いたしました。
創立者ぬみよ並びに要二が
卓見された女子教育の重要性

平成元年に開学して以来、
本学は早くも十三年目を迎え
千数百名に及ぶ有為の人材を
世に送り出して来ました。そ
の間、大学をめぐる諸状況の
変化に対処して、私たちは絶
えず改革努力を重ねてきまし
たが、ここで更なる発展を期

と女性の社会的進出は昭和の
後半から平成にかけて年々増
加して参りました。
本学園の高等学校において
も、四年制大学・短大等への
進学希望が増えており現在で
は九十パーセントをこえる状
況であります。

このため生徒の進学希望に
対応すべく山村女子高校・山
村国際高校とともに、コース制
の導入・授業の充実など、ま
た就職希望にたいしても全員
企業への内定を目指して個人
指導が行われており、生徒一
人一人を大切にしたい教育を、
教職員全員の力を結集して努
力を続けております。

この学園の躍進の歩みを静
かに見守っているのが、山村
国際高校の正門近くにある温
顔をたたえたレリーフの祖父
忠吉であり、山村女子高校の
旧玄関前の、父母要二・ぬみ
して、目下、左のような根本
的な変革を精力的に進めてい
ます。

第一は、現在認可申請中の
「保育学科」の新設です。若
い母親たちの生活スタイルの
変化による保育所へのニーズ
の高まりとあわせて、さまざま
の各種の福祉施設において、
保育士には、不可欠の要員と
して、非常に強い期待が寄せ
られています。
第二は、従来の国際文化科
を根本から見直し、あらたに
「コミュニケーション学科」
として、スタートします。文化
言語心理、ビジネス、文化

よの胸像であります。ここに
は同窓会むらさき会の皆様の
学園によせる母校愛が大きな
柱となっております。

また、同窓会主催で昭和五
十七年六月六日に紅白の幕を
張りめぐらして祝典を行いま
した学園発祥の地の記念碑建
立は六十年の学園史発祥を祝
う記念の行事であり、永く存
置される偉業でありました。温
こられるは、すべて学園に温
情と敬意を存分に表されまし
た同窓会むらさき会の業績で
あり厚く御礼を申しのべさせ
て頂きます。

私共、学園教職員は教えの
道に研究を深め学園発展のた
めに万全を期す心であります。
むらさき会の皆様には、こ
の機を節目となさり、一層の
ご活躍とご発展を心からご期
待申しあげます。

などの四つのコミュニケーション
科目群から構成されていま
す。

第三は、以上の諸事情によつ
て、来年度より本学は男女共
学となり、校名もあらたに
「山村学園短期大学」と改ま
ります。
本学の新しい未来にどうぞ
ご期待下さい。

※なお、本学のオープンキャ
ンパスや、入試関係につき
ましては左記にお問い合わせ
下さい。

TEL
049-1296-2000

淑敬実 貞愛質

やまむら



この筆書きの文字は、学校新聞を創立した時に、学園の創立者、山村ぬみよ先生にお願いしてご染筆いただいたものです。

私の柔らかい毛筆で「やまむら」を、硬い筆で校訓をお書き下さいました。

この二つの書をよく見ますと、二つの意志が表されていますように思われます。

校訓の書は学校経営七十年のご体験をふまえ、教育学校経営の厳しさを訓え、やまむらの「強くあれ」、女子生徒への「強くあれ」という願望がこめられているように思われます。皆さん、学校新聞をご覧なされるときには、このようなことも、併せてお考え頂けないでしょうか。

顧問 國田正雄

皆さん

同窓会のあとで

同期の集い
仲よしの会
お茶のみ会
はいかが

いく年たつても

みんな おともだち

皆さん、喜んで参加しましたよ

室岡テイ子さん

私は昭和三十四年三月の卒業生ですから校名も山村家政女学校で学校も川越の小仙波にございました。入曾の駅から電車で本川越駅に行き、歩いて学校にいった時代の卒業生です。

田中（福田）先生が担任でしたが、先生がご結婚なさいました時で、姓が変わりましたね。佳い年の担任でした。

私たちは今年はじめてむらさき会総会に出席したのですが、総会はこの立派で感慨ぶかいものがありました。

もう少し若い頃には、同窓生で相談して、年にいく度かお食事会をしていました。

話題は学生時代のこと、先生方の噂や勉強のいろいろ。でもお食事会も、お互いに忙しくもなるので――。

私たちが初めての出席でしたが盛会でしたねえ。役員皆さんのお仕事ぶりを見ていますと、それぞれお仕事もご家庭もおりなのに、さぞ忙しいことでしょうと思いましたが、来年は総会の後で同期の集いをしてみればと思います。

山村国際高等学校

教頭 八木直也先生



国際高校に入学してくる生徒は入学時点で、大学進学を目標にしているのです。学習意欲もさかんで、短大大学への現役進学率は三年間の努力により大学へ進むという生徒が七十%ぐらいです。また特殊技能を取得してその道へという生徒が二十%です。卒業即就職という生徒は職を選択する段階では苦勞をする現況です。

入学してくる時点で目標を持っていきますから、あとは

◎強い学習意欲の持続
◎目標に向い努力の継続

この二つを併せて三年間がんばってこそ山村国際高校の生徒ですね。質のいい生徒ですから、実力をつけてほしいと思えますね。

◎スクールバスの活用
国際高校は坂戸市にありますから、東上線、越

生線の便は非常に良いのですが、狭山市方面とは交通が不便です。そこで生徒の通学上、ふだんは云うまでもなく雨の日でもバス利用ができます。新狭山の駅まで出てくれば学校内駐車場まで、何の心配もなく到着、下校時と同じです。安全、安心、定時刻、という通学コースですね。

国際高校は山村女子高校として坂戸の地に開校以来五十年になります。長い歩みを続け卒業生は同窓むらさき会の一員ですが、名簿がありません。同窓会名簿がほしいなど思うことがありますね。



「あーら、お久しぶりネ!!」
「お元気でしたか。」

山村女子高等学校

教頭 鈴木照美先生



同窓の友、むらさき会なくして学園はありえないと思います。これは皆さんの立派な日頃の活動を拝見している私の感想です。開校以来八十年の発展は、同窓生皆様の足跡・歴史です。常に学園の諸々にご関心深い皆様に、学校の様子を申し上げ、今後益々のご理解をお願い申し上げます。現在、川越には千名の生徒が在籍し、そのほとんどが進学希望です。以前は商業科の卒業生が社会の信頼を頂き、広く貢献していましたが、現在は次の現況であります。

- ◎四年制大学へ 約四十%
- ◎短期大学等へ 約五十%

このように九十%が進学という現況に変化してきました。世の中の変化進歩というのか、女性の社会進出が増加し有能な人を求める社会が変わって行くからでしょうね。

卒業後は同窓の組織、むらさき会員になる生徒です。どうぞ、ご声援下さるようお願いいたします。

狭山中の懇談会で思い出した
ぬみよ先生の教育

平本佳枝さん

先日狭山中懇談会に出席いたしました。民生委員という職務を頂いていますので。

その席上でいろいろ話題がありました。なかにも「子供をみれば家庭の様子がわかる」というお話があり、

「昔お父さんはこわかった」お母さんは優しくかった」ということも話題の一つでした。

私は若い時の嫉、山村ぬみよ先生の訓えは、よかったと思いますよ。校訓も不滅のものですね。時代は変わろうとも人の生き方が根本ですからね。

父は怖かったけど良いお父さんでした。母はいつも優しくったんです。ぬみよ先生もちょうど、父と母を合わせたような、素晴らしい先生でしたね。

山村国際高等学校

林 英明先生



男女共学という楽しいような難しそうな、はじめての経験をしています。男子はまだ少ないのですが特別進学コースとして将来を描きながら大進学を目標に努力し、私も初めてなので将来の夢を描きながらの毎日です。人数の少ない男子生徒ですが弓道、居合、空手等の練習も積極的です。通学も坂戸、若葉の駅に近く、スクールバスを利用する通学コースもあり、便利です。本校では八月二十五日に来年度の入学説明会、来年一月二十二日、二十四日には推薦入学、二月一日には一般の入学試験を行います。

- ◎特別進学コース 希望に
 - ◎選抜クラス もえる
 - ◎普通クラス 三コース
- 末筆ですが、むらさき会の発展をご期待申しあげます。

むらさき会はプリンスホテル

同窓同期の集いは

来年五月十二日(日)十一時



「毎年5月は皆さんとおはなしてきますね」



「むらさき会っていいですね 来年も来ましようよ。」

おくゆかしい
藤の花のむらさき会

皆さんの集いは
平成14年5月12日(日)
11:00 開会
川越プリンスホテル
総会後に、同級の集いも!!



山村学園短期大学の電話は
049-296-2000

お早く朗報を!

	出願期間	試験日	合格発表
①	10月31日～11月7日	11月10日	11月12日
②	12月3日～12月6日	12月8日	12月10日
③	1月9日～1月15日	1月19日	1月21日
④	1月26日～1月31日	2月2日	2月4日
⑤	2月22日～3月1日	3月4日	3月5日
面接テスト	出願期間	審査面接	合格発表
	10月31日～11月7日	11月10日	11月12日
	12月3日～12月6日	12月8日	12月10日

☆入学試験は次の通りです。

叔母さん 四人が卒業生
姉妹三人 入間川 平本佳枝さん
私、三年前に主人を亡くしましてね、一人で建材店の経営をしています。
私の家では山村学園に四人が入学卒業ということですが私たちが姉妹が三人で、叔母が一人で、四人卒業になるので、珍しいそうですね。
昔の小仙波の学校時代ですから、同学年はABC三クラスで、一クラス五十人、百五十人ぐらいでしたね。
同窓会の名も、むらさき会と名前はかわりましたが、ぬみよ先生の調えが今も忘れる

ことはなく、きびしく優しくかつた思い出ばかりです。
同期の皆さんと、お話ができるし、昔のこともいろいろ思い出されて、なつかしさがこみあげる感じ……。
出席を
多く、皆に電話してね。
むらさき会に改める前、ずっと昔ですが、目ぼしい人達に電話しましてね。二十年前に同期会をしました。同期生はおよそ百五十人でしたから全部とはいきませんですね。
来年のことを云うと鬼が笑うかも知れませんが、笑われたいって、やっぱり同期生には会いたいですよ。
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

オープンキャンパス

7/21と8/22の10:00は終わりました。

- 9/22(土) 10:00
- 10/13(土) 10:00
- 11/17(土) 13:00
- 11/18(日) 10:00

軽食の用意があります。
お待ちしております。

山村学園
短期大学入試
スケジュールは
次の通りです



編集後記

山村ぬみよ、要二両先生がご努力された学園は、八十年、五十年の学園史に短期大学の躍進を加え、同窓会も藤の花の色を会の名と定め、毎年五月に総会を開催、先輩後輩同期相集い、盛大賑やかです。来年五月の総会を楽しみにむらさき第五号をお届けします。

編集委員長 福島ミヤ子
同副委員長 菅原きよみ

私たちは幹事です
ご連絡は私たちに

山村国際高等学校	山村女子高等学校
049-281-0221	049-225-3565
富加 菅原きよみ 田藤 充代 佳子	柳 星野 節子 沢 小林 豊子 百 三角 百合子 合 由紀

顧問 國田 正雄
副会長 伊藤 勲子
野島 康子
福島ミヤ子
田中 久子

むらさき会
平成十三年度役員一覧